Ⅱ　副市長・総務担当部長会議送付議題

○　総務文教分野

区分	■ 新　規　　□ 再提案　（　・　・　第　　回総会；　　市）			
種類	□ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ■ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）		分野	■ 総務文教 □ 社会環境 □ 経済 □ 危機管理建設
要望先	■ 国	担当省庁	総務省ほか	
	□ 県	担当部局		
	□ その他	名　　称		

件名	**1　自治体システムの仕様の標準化により見込まれる一時的費用等の市町村負担軽減について**
提案市	須坂市、飯山市
提案要旨	自治体システムの仕様の標準化について、移行や連携に必要な一時的な費用の発生が見込まれるため、必要な財政措置を行うことを要望する。 また、標準化の内容、スケジュール等について早期に示すとともに、共同利用指針についても検討、推進することを要望する。
提案理由	現在検討を進めている17業務の自治体システム仕様標準化については、標準化した住民記録システムを導入した場合、関連システムとの連携機能の改修が必要となる場合がある。また、既存システムからのデータ移行費用や、残契約期間の使用料など、市町村の一時的な負担増が見込まれる。 このほか、二重投資を避けるためにも、スケジュール等を早期に把握し、自治体の負担軽減を図りたい。 仕様の標準化は共同利用を視野に入れたものであるが、その方向性や指針を明確にすることで共同利用が促進されると考えられる。
現況及び課題等	対象となっている17業務について、どの部分まで含まれているかは仕様を確認するまでは分からないが、市町村が使用しているシステムは様々であり、少なくとも仕様から外れるサブシステムが出てくると考えられ（福祉医療給付、地域包括支援、水道、公営住宅管理等）、これらとの連携のため改修費用が発生すると考えられる。 須坂市で実施した過去のシステム移行では、事業者間のデータ移行に6,000万円前後の費用が発生した実績がある。 標準化システムへの移行には長期の準備期間を要し、職員数が減少している中での対応は大きな負担となることも見込まれる。
関係法令	